

出雲市におけるマンモグラフィ検診の現状

くろ だ ひろ ゆき¹⁾ かじ たに ふさ お生²⁾
黒 田 弘 之¹⁾ 梶 谷 房 生²⁾

キーワード：乳がん検診，マンモグラフィ，精度管理，
検診受診率，早期発見

要 旨

出雲市では平成12年度よりマンモグラフィによる乳がん検診（住民検診）を実施している。平成19年度までの8年間の総計で検診受診者数のべ5,074例，要精検率11.2%，精密検査受診率93.8%，癌発見数38例，早期癌割合66%，癌発見率0.75%，陽性反応的中度6.7%であった。受診率は年々増加し平成19年度には7.1%となったが，ほぼ同規模と推定される職域検診を合計しても15%程度で，「がん対策推進基本計画」の目標値50%の1/3に過ぎない。一方で医師不足により乳がん検診実施施設は減少傾向にあり，目標値をクリアし乳癌死亡率を減少させるためには毎月の自己触診を習慣づけるような啓発活動を強化するとともに，バス検診を導入する必要があると考える。

はじめに

出雲市（島根県）では平成12年3月に改正された「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（老健第65号）」¹⁾に沿って平成12年度よりマンモグラフィによる乳がん検診（住民検診）を実施している。今回，平成19年度まで8年間の成績について集計し問題点を検討した。

1. 対象人口

検診開始時点（平成12年度）での対象人口は50

表1 対象人口

H12年度	18,000人(50歳以上)
H13~15年度	19,000人(45歳以上)
H16年度	21,000人(40歳以上)
H17年度～	37,000人(市町村合併)

歳以上，約18,000人であった。その後，対象年齢の拡大により平成16年度には対象人口は約21,000人となった。さらに，平成17年度の市町村合併により現在約37,000人が検診対象となっている（表1）。

2. 方 法

平成16年度まではマンモグラフィ単独検診にて

Hiroyuki KURODA et al.

1) 出雲市立総合医療センター放射線科 2) 同 医事課
連絡先：〒691-0003 出雲市灘分町613